

未来をかえる。未来をつくる。

コンコルディア・フィナンシャルグループ × SDGs

CONCORDIA
Financial Group



発行：株式会社 コンコルディア・フィナンシャルグループ
(Concordia Financial Group, Ltd.)
〒103-6034 東京都中央区日本橋2丁目7番1号(東京日本橋タワー34階)

コンコルディア・フィナンシャルグループの
SDGsについてはこちら



公式サイト <https://www.concordia-fg.jp/>

UD
FONT 本文には見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。

石灰石からつくる革命的新素材
LIMEX

本レポートは、株式会社TBMが開発・製造した石灰石を
主原料とする新素材LIMEX(ライメックス)から作られて
います。LIMEXは通常の印刷用紙と比較し、製造過程で
水をほとんど使用せず、本レポート1部の制作で約4Lの水
資源を保全できます。廃棄に際しては古紙回収ではなく、
「可燃ごみ」として取扱ってください。



— トップメッセージ —



株式会社 コンコルディア・フィナンシャルグループ
代表取締役社長 川村 健一

持続可能な社会をめざして

「誰も置き去りにしない」世界をめざし、17のゴールと169のターゲットを定めて2030年までに達成することを目標とするSDGs。

日本においても、人口減少や地方創生、環境問題などの社会的な課題を、政府から企業、個人まで自らの行動を通じてどのように解決していくのかが問われています。

私たち地域金融機関にできることはまだまだたくさんあります。地域にとってなくてはならない金融グループとして、地域社会の発展を通じて私たちも成長し、生み出した利益や価値をまた地域に還元していく。この循環が持続可能な社会の構築につながるのだと確信しています。

私たちが長期的にめざす姿は「従来の銀行を超える新しい金融企業」です。すべてのステークホルダーの皆さまをつなぎ合わせる中心的な役割を担いながら、従来の銀行の枠にとらわれず、柔軟な発想で社会の持続的な発展のために取り組んでいきます。

私たちは2030年さらにその先も見据えて、皆さまとともに、未来をかえて、未来をつくっていききたいと思います。



SDGsとは?

SDGsとは2015年9月に国連に加盟する全ての国が、全会一致で採択した「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」です。

このSDGsは17のゴールと、より具体的な目標である169のターゲットから構成され「誰も置き去りにしない」世界をつくることをめざし、2030年までに達成することを目標としています。

われわれ企業は本業を通じて、そしてそこで働く従業員もさまざまな活動を通して、経済や街づくり、環境といった社会的課題への解決に貢献することで「持続可能な社会」を創ることができるのです。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさも守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナーシップで目標を達成しよう	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS 2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です

コンコルディア・フィナンシャルグループは、地域の皆さまの活動を応援し、持続可能な社会の実現をめざしています。

横浜銀行と東日本銀行は、地域金融機関として、かねてより地域社会に貢献し地域の発展とともに企業価値の向上をはかってまいりました。

これからも地方創生の支援、持続可能な地域経済の構築など、地方銀行ならではのSDGsの取り組みを強化してまいります。

当グループの強み

お客さまへの
コンサルティング力

多様な人材

CONCORDIA
Financial Group

横浜銀行 | 東日本銀行

ローコスト
オペレーション

グループの
金融サービス機能と
海外ネットワーク

東京神奈川の
稠密な店舗網と
成長マーケット

ステークホルダーへの価値提供

お客さま

豊かな人生の実現
事業の持続的な発展

地域社会

地域社会の持続的な発展

従業員

従業員にとって魅力ある組織
期待と信頼にこたえる人材育成

株主

持続的な企業価値向上

コンコルディア・フィナンシャルグループが 取り組むSDGs

コンコルディア・フィナンシャルグループは、「地域」「子ども」「環境」をCSRの重点テーマと位置づけ、本業である金融サービスなど、さまざまな企業活動を通じて、社会の持続的な発展に貢献しSDGs(持続可能な開発目標)の達成をめざしています。

P7-8



地域

地域の皆さまと協働し、
魅力あふれる地域づくりに取り組みます。



地域社会の持続的な成長へ

キャッシュレス社会の実現

豊かな地域をめざす活動



P9-10



子ども

未来を担う子ども達を育成し、地域のさらなる活性化と発展をめざすため、安心して子育てできる環境づくりに取り組みます。

金融リテラシーの向上・
人生100年時代を見据えた取り組み

中長期的な資産形成の支援

子ども向けスポーツ、文化・芸術活動



P11-12



環境



本業の金融サービスを通じた活動や
自らの企業活動において環境への配慮に
取り組みます。

環境ビジネスの支援

環境に配慮した取り組み

環境にやさしい店舗づくり



P13



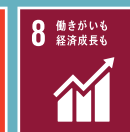
ガバナンス

全ての従業員が自分らしく活躍する
組織づくりに取り組みます。

女性が活躍できる組織

働きがいのある職場づくりと人材育成

コーポレートガバナンス



P14



わたし達のSDGs宣言



SDGsが掲げる17のゴールを達成するには国や企業だけではなく、わたし達が今、世界で起きていることを「自分ごと」として捉え、かつ「一人の人間として何が出来るか」を考えて行動することが大切だと感じています。
わたし達が住む2030年の地球を想像して次世代に遺したいものは何かを考える…これもまたSDGsをはじめめる最初のアクションの1つだと考えます。





地域 Region



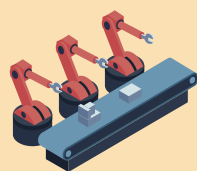
地域とともに
豊かで持続的に発展する社会づくりへ



地域経済の持続的な成長へ

人口減少やインバウンド消費の取り込みなど地域の課題を解決するため、官民一体となったコーディネート機能を発揮し、地域の成長基盤強化に取り組みます。

地方創生の 取り組み



地域ごとの課題とめざすべき10年後の姿を予測して、そのビジョンに向けて銀行が取り組む「はまぎん10年後プロジェクト」。開発が進む横浜みなとみらい21地区では「新港ふ頭」での客船ターミナル建設への資金協力や新たな進出事業者の紹介、企業同士の交流などをサポートしています。



少子高齢化・人口減少の課題に直面する三浦半島地域では、京浜急行電鉄株式会社と株式会社NTTドコモと「三浦半島地域の経済活性化に向けた連携と協力に関する協定」を締結し、産業振興や、マリンレジャーの活性化に向けてともに取り組んでいます。

観光活性化



横浜銀行と地域経済活性化支援機構 (REVIC) が出資する「かながわ観光活性化ファンド」を活用して、湯河原町の「富士屋旅館」や、鎌倉の古民家を宿泊施設に改修した民泊旅館「鎌倉 古今」の開業を支援。官民一体となって観光活性化を支援しています。



キャッシュレス社会の実現

現金を使わない「キャッシュレス決済」が世界中で広がっています。決済効率化、インバウンド消費取り込みのため、現在20%の国内キャッシュレス決済比率を将来的に80%まで高めるのが政府の目標です。スマートフォンを活用した「はまPay」で小売店や商店街のキャッシュレス導入やデータ活用を支援しています。



豊かな地域をめざす活動

少子高齢化が進む現代社会では、さまざまな分野において地域住民による助け合いや交流が重要とされています。



わたし達は地元プロスポーツチームとの連携や、社会福祉施設で唄や楽器演奏を披露するボランティアキャラバン、各地での清掃活動や行事への参加などを通じて地域との交流を深めています。





こども
Children



未来を担う
無限の可能性を持つ子ども達へ



金融リテラシーの向上・人生100年時代を見据えた取り組み



「人生100年時代」といわれる今、地域の皆さまの未来がより充実したものになるようさまざまなサポートをすること、また次世代を担う子どもたちを育成していくことは私たち銀行の責務です。

人生100年時代のお手伝い

横浜銀行では、55歳以上のお客さまを対象とした無料の会員サービス「Club Anchor (クラブアンカー)」をご用意しています。長い人生を充実させるためには、「生きがい」「健康」「お金」3つのバランスを取ることが大切であると考え、さまざまなご提案をしています。



資産形成支援



次世代の子ども達へ資産を遺す商品として、中長期的なつみたてによる資産形成が可能で「つみたてNISA」をご案内しています。また、相続や資産承継のコンサルティングをおこない、次世代への円滑な資産承継のお手伝いをしています。

詳しくは横浜銀行
ホームページ
「つみたてNISA」

● <https://www.boy.co.jp/kojin/tameru/toushin/nisa/>



経済・金融教育



各営業店で近隣の小・中学生の職場体験を受け入れているほか、出張授業により、子ども達に金融についてやさしく学んでもらっています。高校生向けには「エコノミクス甲子園神奈川大会」を毎年開催しています。



地元大学との産学連携の取り組み

横浜銀行は横浜国立大学をはじめとする地元大学と連携し包括協定を結んでいます。各大学の研究支援をおこなうほか、金融システムや金融政策などの出張講座により実務に沿った内容の学びの機会を提供しています。

スポーツや科学の分野でも子ども達を応援

東日本銀行は「リトルリーグ東関東連盟・メジャー茨城大会」に協賛しています。横浜銀行は「横浜銀行カップ神奈川県学童軟式野球選手権大会」を冠スポンサーとして応援しているほか、サッカーチームやバスケットボールチームなどと連携して各種イベントを開催しています。また「はまぎん こども宇宙科学館」のネーミングライツスポンサーとして小学生を対象とした体験学習「はまぎん キッズ・サイエンス」を開催し、宇宙や科学の不思議を学ぶ場を提供しています。





環境

Environment

これから先も緑豊かな地球を守るために



SDGs私募債

「くはまぎん」SDGs私募債～未来へ～は、お客さまによる私募債の発行を記念して、横浜銀行が発行金額の0.1%相当額を寄附する商品です。寄附先は神奈川県による「かながわSDGs取組方針」のテーマに沿った5団体でマイクロプラスチック問題や未病の改善、エネルギーの地産地消など社会的課題の解決に向けて寄附金が活用されます。2019年7月には第1回の寄付金約5百万円を贈呈しました。

「くはまぎん」SDGs私募債～未来へ～の概要

- 取投総額：100億円
- 取扱期間：2020年3月31日(火)引受分まで
- 発行額：5千万円以上(5千万円単位) ※発行企業1社につき、5億円以内。



「脱プラ」など環境に配慮した取り組み



森林の減少や水不足といった世界が直面する環境問題に配慮し、環境配慮型素材「LIMEX」を本レポートのほか、株主さま向けのリーフレットやお客さまに配付するうちわなどに採用しています。

また、横浜銀行では、深刻な「海洋プラスチック汚染」への対応として店頭でお客さまの書類などを入れるために配付しているショッパーを、従来のプラスチックの一種であるポリエチレン製ビニール袋から、LIMEXへ全面的に切り替えました。

社員食堂を通じた取り組み



横浜銀行の本店社員食堂において、国内銀行で初めて「サステナブル・シーフード」(*)を使用したメニューの提供を開始しました。違法・過剰漁業による水産資源の枯渇や海洋汚染によって海洋生物の生息環境の悪化などが深刻化するなか、持続可能な水産物の導入を進めることで従業員一人ひとりの「食」に関する意識・行動の変化を促していきます。

(※)「サステナブル・シーフード」は、乱獲をせず、自然環境にも配慮した方法で獲られた水産物です。水産資源や環境に配慮して獲られた天然の水産物と、環境への影響を最小限にして育てられた養殖の水産物があり、いずれも審査機関による認証(MSC認証やASC認証など)が必要となります。

環境にやさしい店舗づくり



横浜銀行・東日本銀行の店舗のリニューアルにあたっては、太陽光発電装置の設置、LED照明や高断熱ガラスを組み込んだカーテンウォールなど、環境にやさしい店舗づくりに努めています。

横浜銀行は店舗や本店ビルの環境に配慮した運営が評価され、日本ファシリティマネジメント協会から、金融機関では初となる「最優秀ファシリティマネジメント賞」を受賞しました。



ガバナンス Governance



わたしらしく働く
全ての従業員が活躍する組織づくりへ



女性が活躍できる組織

全ての従業員が力を存分に発揮できる風土づくりに取り組んでいます。育児休業制度や託児費用の補助、育児休業からの復職支援に向けたカリキュラムを通じて就業継続を支援しています。



グループ(2行合計)の女性役職者比率は28.1%で、2020年度の目標25%を前倒しで達成。女性活躍の取り組みが評価され、横浜銀行は内閣府から「女性が輝く先進企業」として表彰されました。



働きがいのある職場づくりと人材育成



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

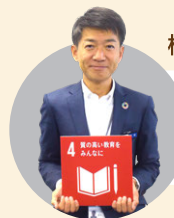
柔軟かつ効率的に働くことで生み出した時間を有効活用して、自ら考え行動する職場をめざしています。勤務間インターバルやテレワークの導入、従業員の健康増進に向けた「横浜銀行 健康宣言」など働きがいのある職場づくりに加えて、金融コンサルティング力の高い専門人材の育成を通じて地域における金融仲介機能を高めています。



わたし達のSDGs宣言

Endeavour

SDGsがゴールに掲げる社会的な課題についてグループの従業員一人ひとりが「企業として、人としてなにができるか」を考え行動に移すことが大切だと考えています。



横浜銀行 地域戦略・ブランド・CSR部門 部長

めざすゴール：4 質の高い教育をみんなに

次世代を担う子ども達を、金融経済教育をはじめとしたさまざまな分野で応援し、地域社会の持続的な発展をめざします。



横浜銀行 営業店 支店長

めざすゴール：11 住み続けられるまちづくりを

地域金融機関として、ご高齢のお客さまにも優しく便利な対応を心がけ、地域の皆さんが安心して暮らすことのできる街づくりに貢献します。



横浜銀行 営業店 渉外担当

めざすゴール：8 働きがいも経済成長も

お客さまの事業承継等の経営課題に対して、適切なソリューション提供や円滑な資金供給をおこなうことで地域経済の発展に尽力し、共に成長していくことをめざします。



東日本銀行 本部融資審査担当

めざすゴール：9 産業と技術改革の基盤をつくろう

融資審査という業務を通じて、地域社会や企業の課題を解決することで将来にわたり事業の持続的な発展に努めます。

東日本銀行 営業店事務担当



めざすゴール：15 陸の豊かさも守ろう

資料などの印刷を必要最小限にしているほか、パソコンの付箋機能なども活用して、日常業務のなかで紙の使用量を減らすよう心がけています。



コンコルディア・フィナンシャルグループ 執行役員

めざすゴール：17 パートナリーシップで目標を達成しよう

長期的な視点でSDGsの考え方を経営に取り入れ、地域金融機関ならではのSDGsの取り組みを実践してまいります。